大津東小学校で学ぶという選択肢

大津町立小学校小規模特認校制度を導入します

大津東小学校が小規模特認校に

令和２年度から「大津町立小学校小規模特認校制度」を導入します。この制度は、適正規模による学校経営を目的にしたものの、従来の通学区域は残したので、従来の通学区域以外からの就学を認めるものです。

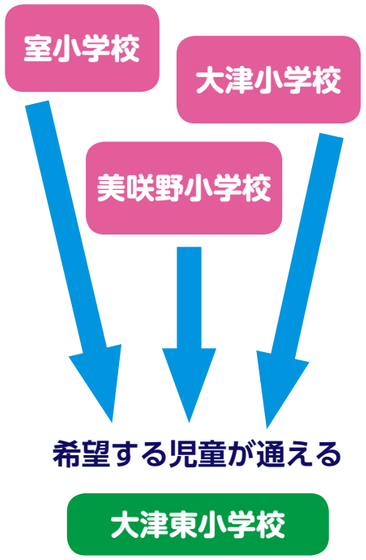
小規模校の環境を生かした特色ある教育を希望する児童や保護者に対し、学校の指定を変更します。

大津町では、大規模校の校区に住んでいる児童が希望すれば小規模特認校である大津東小学校に通うことができます。

来年度のみ１～６年生が対象

大規模校である大津小学校、美咲野小学校、室小学校に次年度、就学予定の児童が対象になります。

制度導入の初年度である令和２年度のみ、１年生から６年生までを対象にします。



導入までのスケジュール

【令和元年】

- **6月～7月　制度説明会**
- **7月～9月　見学会・体験入学**
- **9月～10月　募集開始**
- **11月～12月　申請者との面談**
- **12月上旬　対象者決定**

【令和2年】

- **4月1日　制度開始**

大津東小学校に就学を希望する人、または就学を検討している人は、オークスプラザでの説明会への参加をお願いします。

なお、各大規模校での説明も行う予定です。

小規模校、大規模校それぞれに良さがあります

町内の小学校は、７校ともにそれぞれが特色のある教育活動を行っています。小規模校には小規模校の良さがあり、大規模校には大規模校の良さがあります。この制度は、大規模校に通う皆さんの選択肢が広がるとともに、小規模校では児童数の増加が期待できる、双方にメリットがある制度です。大津東小学校の特色ある教育や制度に興味がある人は、まずは説明会に参加してみませんか。

大津町教育委員会
吉良（きら） 智恵美（ちえみ）
教育長

大津東小学校の特色

５月16日、６年生のみんなで大林古墳を見学しました。地元の文化財保護委員である西村和正さんと一緒に説明を聞きながら文化財を学びました。

地域が主体となった活動

体験学習が楽しい「風の子教室」や「どんどや」など地域の皆さんが主体となった活動があります。今年度から毎週金曜日の放課後にみんなで宿題などを教え合う「寺子屋」が始まります。

地域と連携した体験活動

大林地区の伝統芸能である「牛舞い」など校区内の伝統文化や自然を生かした体験活動を行っています。地域の皆さんとの交流も多く、通学時には地域の人に元気良くあいさつしています。

縦割り班による異学年交流活動

１年生から６年生まで、縦割り班に分かれて、異学年交流活動を行います。１年生と６年生が一緒に掃除をしたり、駅伝大会を一緒に行ったり、小規模校ならではの縦のつながりが生まれています。

一人一人が主役になれる学校行事

運動会や学習発表会を始め、一人一人が主役になる場面が多くあります。例えば、「二分の一成人式」では親と一緒に発表をし合うなど、児童数が少ないからこそ、主役になる機会が多くなります。

説明会を開催します

この制度について詳しい内容が分かる説明会を開催します。少しでも制度に興味のある皆さんは、ぜひ説明会にご参加ください。就学の選択肢の幅が広がるかもしれません。

○日時
６月21日（金）　午後７時から
６月22日（土）　午前10時から
※両日とも同じ内容です。

○場所　オークスプラザ　２階
ふれあいホール

○問い合わせ
役場学校教育課　学務係
☎096（293）3349

大津東小学校
武藤（むとう） 将司（しょうじ） 校長

小規模校だからできること

大津東小学校の児童数は43人です。児童が少ないからこそ、一人一人に時間をかけて話をしたり聞いたりすることができます。時代のニーズに合わせた個別化や多様性を大事にすることができます。また、東小校区は地域力がとても強いと感じています。地域の人が何度も学校に来てくれますし、「寺子屋」など、地域の人から提案してくれて始まる事業もあります。異学年のコミュニケーションが多く取りやすい良い学校だと思います。